

2022年度

NO.14
2月号



小学部だより 作新学院小学部

2023年 1月 30日

<https://www.sakushin.ac.jp/elementaryschool/>

ことごとく冬芽は空を目指しけり —平田倫子—

寒さを防ぐため鱗片((りんぺん)と呼ばれる固い皮でおおわれている冬芽。晩夏から秋に形成され、休眠・越冬して、春に伸びて葉や花になる芽のことです。越冬芽。「ふゆめ」あるいは「とうが」とも呼ばれています。

寒い時季、ポケットに手を入れて背中を丸めて歩いている姿を思い浮かべがちですが、先の句にあるように上を向いて空を目指す冬芽を見習いたいものです。夢や目標に向かって歩みだすときです。

昨年の12月のクリスマス音楽会のティーチャーズ・ライブでは楽曲「新時代」を披露させていただきました。時代が動き出すとき、それはまさに「新」時代に向かって動き出すときです。私たちは今起きているできごとの積み重ねによって先(新時代)を創り上げるのではなく、変容することを受け入れながら先に向かって歩んでいるのではないのでしょうか。少々、大上段に構えてしまいました。この3年間、コロナ禍に喘いできましたが、どうやら「マスク」の着用においても見直しが始まっているとの報道があります。コロナについて「正しく恐れる」ことが至極大事な事と理解しています。「うつらない・うつさない」という標語的な言い回しも耳にします。感染防止を施したうえで、「豊かに生活する」ことを目指していきたいと思う今日この頃です。

2月の行事予定

1	水	個人面談⇒2/4(土)まで	14	火	学級懇談会(6年) 必修クラブ見学(6年保護者)
6	月	租税教室・財務教育(6年)	15	水	B日課
7	火	クラブ	16	木	役員会
8	水	個人写真	20	月	スキー教室(5・6年)⇒2/22(水)まで
9	木	スケート教室(3・4年)	27	月	学力テスト⇒3/1(水)まで

連絡事項

- 2/1(水)から予定されている個人面談ですが、対面による短時間の面談を計画しています。すでに各クラスより詳細を記載したプリントが配布されています。よろしくお願いいたします。

- 2/6(月)に租税教室・財務教育(6年)があります。専門家担当者が来校され、将来に活かせる知識が習得できる機会です。アカデミア・ラボのクエストルームで開催します。
- 2/8(水)に、新学年に向けての個人写真撮影(1年生～5年生)があります。特に撮影日には服装・頭髪を整えて登校させて下さい。
- 2/9(木)に、スケート教室(3・4年生)があります。詳細は1/11(水)配布の記載通りです。今回から専門のインストラクターが各グループで指導してまいります。
- 2/15(水)はB日課です。下校時刻が変わります。ご注意ください。
- 2/20(月)から二泊三日の予定でスキー教室(5・6年)があります。直近では1/24(火)に配布したプリントが最新のものになります。日頃から健康には留意されているところですが、安心安全なスキー教室となりますよう、該当学年の子どもたちはもちろんのこと、保護者様におかれましてもお子様の体調管理をよろしくお願いいたします。

個人面談・学級懇談会について

○1年生～5年生の個人面談について

日時 クラス配布の記載通り 各教室にて
午前中授業・給食、該当学年の下校は1:30p.m.
駐車場は、西駐車場です。

○6年生の学級懇談会について

日時 2/14(火)3:15p.m.～ 6年各教室にて
6年生の下校は3:00p.m.
駐車場は、西駐車場です。



卒業まで「6週間と半分」

令和5年度児童募集に係る「第1回入試」では5年生の諸君に係りお手伝いをお願いしました。先日の「一日入学」では6年生の女子に係りお手伝いをお願いしました。担当した5年生や6年生に聞いてみると「私も(当時の5年生や6年生の)お兄さんやお姉さんにお世話になった」という言葉が異口同音に返ってきました。思うに、小学部の伝統になっているのがこの「係りお手伝い」です。

小学生の発達段階を考えると、保護者(親)から愛情豊かに育てられ、その後少しずつ生活の場を外に向け始めます。公園デビューという言葉がありますが、まさにその走りでしょう。幼稚園や保育園で集団生活を学び始めます。このとき人間関係は親からお友達へと少しずつ広がっていきます。小学生になると、「クラスメイト」、いわゆる級友を強く意識し始めます。そして…、学年の違う「お兄さん」や「お姉さん」という年上の“お友達”を人間関係の枠に入れ始めます。このとき、「お兄さん」や「お姉さん」と呼ばれる5・6年生はロールモデルとして学びの対象になります。「私もお世話になったあの時のように、下の学年の子をお世話したい」などと自覚し始めるのです。その先頭に立っている6年生は、卒業までの間、下級生にどんなお手本を示すのか、楽しみながら見守りたいと思います。